

前 奏 黙想	祈 禱
招 詞 マラキ書 3:1	讃 美 歌 II-124 マリアはあゆみぬ
讃 美 歌 26 ころをかたむけ	献 金
祈 禱	讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
信仰告白 使徒信条 566	黙 禱
聖 書 詩編 2:7~9	主の祈り 564
ルカによる福音書 1:26~38	頌 栄 540 みめぐみあふるる
讃 美 歌 100 生けるものすべて	祝 禱
説 教 『オカンまりあ』	後 奏

天使は、ガリラヤの田舎町ナザレに住むマリアに告げた。「おめでとう、めぐまれた方、主があなたと共におられる(ルカ1:28)」。マリアは困惑し「いったいこの挨拶は何のことかと考え込んだ(1:29)」。聖霊によって身ごもり、その子が「神の子と呼ばれる(1:35)」と告げられると、なおさら身に起ることが不可解。だが「神にできないことは何一つない(1:37)」と言われると、不明なまま不審は消え、「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように(1:38)」とその命運を受け入れた。

身に起こることが分からぬまま、命がけの役目を引き受けるこの驚くべき受動性。待降節に入り、熊鈴を鳴らしながらの毎朝の散歩でずっと考えていた。「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない(ヨハネ15:13)」。他者のために命を捨てる…ありうらと思う。昔の出産は命がけだった。母が命がけで産んでくれた事を、人は心の深くで知っている。だから人は他者のために命を賭しうる。私たちのために十字架にかかるイエスを、マリアは命がけで産んだ。ゆえにマリアは「世界の母」。

マリアを貴族の聖女に仕立て上げてはいけぬ。マリアは、御心を生きる長男イエスのことが分からないオカン(浪速言葉で母)気質なのだから(ルカ8:19~21)。マリアをオカンに貶めているのではない、むしろ逆だ。「お言葉通り、この身に成りますように」と答えたマリア。理性ではなく、心の奥が動かされて命がけの役を引き受けてしまうオカン気質が、聖なのだ。「ナザレから何か良いものがでるだろうか(ヨハネ1:46)」と言われるほど地味な田舎町の、純朴な少女マリア。誰も気にも留めない庶民のただ中に、クリスマスの奇跡は起った。特別な場所で、ではない。私たちが生きている文脈において、だ。

聖女崇敬からマリアを奉り、貴族の敬虔な美少女に仕立て上げることは、神の御業の引き下げ。中世ルネサンス美術は聖性を甚だしく見誤っている。洗礼者ヨハネのことを、王のような救済者だと見誤る群衆にイエスは言った。「あなたがたは、何を見に荒れ野へ行ったのか。風にそよぐ葦か。では、何を見に行ったのか。しなやかな服を着た人か。しなやかな服を着た人なら王宮にいる(マタイ11:7~8)」。

「主の定められたところに従ってわたしは述べよう。主はわたしに告げられた。〔お前はわたしの子、今日、わたしはお前を生んだ〕(詩編 2:7)」。「お前はわたしの子」とは、数百年後の「神の子イエス」の暗示なのか。続く「求めよ、わたしは国々をお前の嗣業とし、地の果てまで、お前の領土とする(2:8)」は地上の王への「王権神授」のようにも解せる。一方でまた「なにゆえ、地上の王は構え、支配者は結束して主に逆らい、主の油注がれた方に逆らうのか(2:2)」という記述から、「お前はわたしの子」とは宗教的な神の子だろう。王や支配者とはまったく違う。神の子は、予測に収まらない方なのだ。

人々が気に留めない所に現れる降誕の奇跡。聖都エルサレムではなく良いものなど出ないナザレで(ヨハネ1:46)、貴婦人ではなく庶民のオカンになる少女に、聖なるに降誕が起った。責任を負うべき男(律法)のヨセフではなく、女のマリアが降誕を担う(ルカ福音書では)。キリストは降誕前から働いていた。

「お前は鉄の杖で彼らを打ち、陶工が器を砕くように砕く(詩編 2:9)」。予測や願望は、キリストの降誕によって打ち砕かれる。世の力を頼りにするのではなく、ただ神の言葉を頼りとする(ルカ1:38)。

聖なるものに特別な場所はない 降誕は人々が期待する範疇には収まらない 願望が打ち砕かれる 打ち砕かれる清々しさ 自分を縛っている縄目から解かれる 持たない事の 分らぬ事の清々しさ
本日礼拝後は役員会。そしてまたカレーの日です、どなたでもどうぞ遠慮なくおめしあがり下さい。
12/10(水)12:00~2:00 エステル会(限定参加)。 12/13(土)1:30~3:00 聖研・祈禱会(自由参加)。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。